

## 移動支援の実証実験に関する説明会におけるご意見、ご質問

[地域説明会 参加人数 29名]

令和元年5月14日（火曜日）	南町地区会館	参加人数 9名
令和元年5月15日（水曜日）	柳沢第三市民集会所	参加人数 3名
令和元年5月17日（金曜日）	南町地区会館	参加人数 13名
令和元年5月18日（土曜日）	柳沢中学校	参加人数 4名

[目次]

運行ルート関係	.....	P 1
運行時間関係	.....	P 4
運賃関係	.....	P 6
運行車両関係	.....	P 7
実証実験結果関係	.....	P 8
利用対象者・利用者登録関係	.....	P 9
その他	.....	P 10

## 【運行ルート関係】

問：徳洲会病院やサミットに出掛けることが多いので、そちらに向かうルートを検討して欲しいです。

答：今回はあくまでも実証実験であり、このルートで必ずしも本格運行する訳ではありません。今後、皆様にご利用いただく中で、様々なご意見を頂きながら、より良い移動支援となるよう検討を進めていく予定です。

問：柳沢地区と向台地区を通して欲しいという意見が強かったのでしょうか。それなのに何故、説明会への参加者がこんなに少ないのでしょうか。この計画は、利用者が一人になったとしても続けて欲しいと思っています。使っているうちに良い方法が見つかるのかもしれませんが、それまで私は待ってられません。また、田無工業高校や武蔵野大学の通りに、私は行ったことがないのですが、この先に住宅が沢山あって、その住民の方の声が強かったのでしょうか。どうしてここを通るのが分からないため教えてください。

答：柳沢地域ルートでは、地域内からご乗車いただけるのは、「新柳沢団地内公園」・「柳沢第一児童遊園」、田無駅方面からご乗車いただけるのは「田無庁舎」となります。また、ルートについては、安全面や交通の状況等を考えて設定しており、地図上の実線の黒い線の所では、乗車して頂くことは出来ません。点線のところは、降車可能範囲であり、ご希望の場所で降りることが出来る範囲になります。地域から移動支援に関する要望は頂いておりますが、特定の地域のみのご要望で設定したというものではありません。

問：武蔵境通りにはバスも通っていると思いますが、何故ここを通るのでしょうか。

答：道路が狭隘だったり、渋滞が多いルートは設定し難いことから、なるべく影響が少ないルートとして、このルートを設定しています。武蔵境通りでお待ちいただいても、この実証実験の運行車両には乗れません。運行に当たっては、警察などの関係機関とも協議を行った上で設定していますので、今回の実証実験については、この形で進めさせて頂き、ご意見を頂きたいと考えています。ぜひ利用者カードにご登録頂いて、ご利用頂ければと思います。

問：今回は実験なので、このルートということでしたが、随分と遠回りをしている気がしません。実験後にルートが変わる可能性はあるのでしょうか。

答：あくまでも今回は実証実験であり、今後皆様のご意見等を踏まえ、より良いルートになるように検討を進めていきます。

問：終点が田無庁舎になっていますが、駅の北口は無理なのでしょうか。

答：平成 29 年度に実施したアンケート調査や勉強会などでも、北口に行きたいといった需要が高いことは認識しているため、まずは北口ロータリーも検討しましたが、既にタクシーの乗る場所と降りる場所、バスに 5 箇所の乗車場とさらに降車場があり、そこに一般の車

両も入って来ている状況であるため、警察等とも協議しましたが、安全に乗降出来る場所が見つかりませんでした。その後、近くの公共施設の検討を行いました。北口に適した位置が無かったため、南口の田無庁舎の敷地を利用することにしました。ただし、出来るだけ駅に近い所で降りて頂きたいと考え、市役所通りでの降車を可能とすることを提案させて頂いております。

問：「②柳沢地域ルート」について、保谷第二小学校の西側から北側に向かって点線になっていますが、田無駅方面へ行く時は、実線を通して、帰りは点線を通るといえるのでしょうか。

答：その通りです。実線の部分は、乗降することは出来ませんが、その道を運行車両が通ります。田無駅方面から地域内へお帰りの際は、降車可能範囲として点線でお示ししている道を運行車両が通ります。

問：「②柳沢地域ルート」で田無駅方面へ向かう場合、「柳沢第一児童遊園」でも乗ることが出来るという理解で良いのでしょうか。

答：その通りです。実線上の「柳沢第一児童遊園」は乗車場所になっています。

問：田無駅方面から地域内に帰って来る時は、「柳沢第一児童遊園」は通らないという理解で良いのでしょうか。

答：その通りです。柳沢団地通りが、東から西への一方通行のため、東京老人ホームの所から曲がって来るルートを今回は提案させて頂いています。

問：私は、5年前からこの話をしているのですが、武蔵境から武蔵野大学の裏門の方へ、マイクロバスを通せば良いと思います。そうすると、武蔵野大学の生徒が乗ってくる場合もあり、それを田無の方まで伸ばせば、例えばお金も130円でも良いし、結構お金が入ってくるとは思いますが、如何でしょうか。

答：西東京市の場合は、はなバスというコミュニティバスを走らせていますが、乗り合いのバスとなると、道路の幅で制限があり、この地域内にすべて入って行って、ルートを組むということが難しい状況がありました。そのような状況を踏まえ、この地域において、どのような移動手段が適しているのか、ということを経営の方にもご参加頂いている勉強会の中で検討した成果として、今回、タクシーを活用した移動支援を提案させて頂きました。皆様に、ぜひ今回の実証実験に参加して頂いて、その感想をお聞きして、より良いものになるように改めて検討していきたいと考えています。

問：利用ガイドの9頁の「②柳沢地域ルート」図について、実線と点線がありますが、「新柳沢団地内公園」と「柳沢第一児童遊園」を回って、田無工業高校の方に向かうのでしょうか。どちら回りになるのでしょうか。一方通行が団地内にあるため、乗り場として

は、「新柳沢団地内公園」と「柳沢第一児童遊園」で、それ以外は乗れないのでしょうか。

答：乗車場所については、「新柳沢団地内公園」と「柳沢第一児童遊園」のみとなっております。実線になっているルート上では、ご乗車いただくことは出来ません。また、降りる場所については、市役所通りの点線になっている部分か、「田無庁舎」になります。逆に「田無庁舎」から出た場合には、地域に戻って来て、降りることが出来るのが、保谷第二小学校の所からクランクになっている点線部分になります。

問：今回3つのルートがありますが、何とか3つを一緒にして、はなバスの第6ルートとして将来発展して頂ければ、運賃も安くなって、敬老回数券だと100円で乗れるので、ぜひ成長させて頂きたいと思います。

答：本来であれば、大きな車両を使って、沢山の方に乗って頂ければ、一人当たりのコストも下がり、運賃を安くする事が可能にはなるとは思います。しかし、はなバスの場合には、定時定路線のため、通れる道路の幅が制限されてしまう所があるため、ご意見としては伺いますが、他の方法も含めて、どのような事が出来るかについては、引き続き検討させて頂きたいと思います。現時点では、地域の方にもご参加頂いている勉強会の中で検討した成果を踏まえ、今回のタクシーを活用した移動支援が、この地域に適しているかどうかを検討するために、今回ご提案をさせて頂いており、ぜひ皆様にご利用頂きたいと考えています。

### 【運行時間関係】

問：運行時間としては、午前 10 時から正午と書いてありますが、10 時に来て、次は 10 時半、11 時、11 時半、12 時となるのでしょうか。

答：今回の実証実験では、路線バスのように時刻表がある訳ではなく、午前 10 時から正午と、午後 2 時から 4 時までの間に、ルート内をタクシーが行き来することになります。概ね片道 10 分から 15 分程度なので、もしも乗り場に到着して、すぐにタクシーが行ってしまったとしても、10 分から 15 分お待ち頂ければ、次のタクシーが来ることになります。

問：実証実験の運行時間は、指定曜日の午前 10 時から正午、午後 2 時から 4 時までで、乗り場で待っていれば良いのでしょうか。

答：その通りです。

問：運行時間帯について、午前 10 時に開始して、午後 4 時が最終となっていますが、出発地点を、それぞれ午前 10 時や午後 4 時に出るといえるのでしょうか。

答：出発時間については、運行時間の開始時刻から動き始めますが、最終便の取扱いについては、現在調整中です。例えば、午後 4 時までの運行時間の中で、3 時 50 分に発車した場合に、その後いらした方をどうするのか、というところを、現在タクシー事業者と調整しています。運行時間中にお待ちの方には、ご迷惑をお掛けしないように、引き続きタクシー事業者と調整します。

問：運行時間について、最終が午後 4 時になっていますが、午後 4 時に待っていたら来てくれるのでしょうか。証人が居る訳では無い中で、渋滞などで遅れてタクシーの到着が午後 4 時 10 分などになることもあると思いますが、如何でしょうか。

答：現在タクシー事業者と調整中ですが、基本的には運行時間にいらした方については、お乗りいただけるものと考えています。

問：運行時間について、例えば、正午近くに大勢の利用者がいた場合の取扱いはどうなるのでしょうか。

答：利用状況について、未だ見えない部分がありますが、今回発行させて頂いている「利用者カード」で、利用の状況を見させて頂き、皆様にご利用しやすい運行時間を検討していきたいと考えています。なお、大勢並ばれていた場合の対応につきましては、現在タクシー事業者と調整中であり、例えば、車を増やすなどといったことも、実験の中で検討していきたいと考えています。

問：はなバスのように時間が決まっていないため、年寄りを抱えていると 15 分という時間はとても待っていただけません。

答：地域の方にもご参加頂いている勉強会の中では、例えば、電話で決まった時間にタクシ

一を呼ぶという手法について、予約の手間があり、ハードルが高いという方もいらっしゃったため、今回の実証実験では、決まった時間をタクシーが行き来するという方法を提案させて頂いています。

問：色々なイベントがあつて、それに参加するためには、午前9時までに行きたいとか、午後1時までに行きたいという時があり、もう少し運行時間を拡げて貰わないと利用出来ません。

答：皆様それぞれのご都合があり、色々な時間帯で利用したい、というご意見だと思いますが、今回の実証実験の約3ヶ月の期間は、記載の時間帯で実施させて頂きます。ご意見の中で、この時間よりも、他の時間帯の方が地域としては良い、というご意見が多数であれば、実証実験の結果を踏まえ、変更することは出来るので、今後ご意見として頂きたいと思えます。

問：大きい病院は予約制であり、予約時間に行こうとすると、この運行時間では使えません。体の弱い方が行く所は、ほとんどが病院だと思います。私も、これからはタクシーを使わずに、この移動手段を使おうとしていたのですが、この運行時間では全然使えません。これは、お買い物に行くための運行時間だと思いますが、如何でしょうか。

答：確かに病院によっては、朝6時頃から受付をしているなどという話も聞いたことがあり、そういう方にとっては、今回の運行時間だと使いづらいと思います。ただ、今回は実証実験であり、お買物を目的として外出したいという話も沢山頂いている中で、今回はこの運行時間・ルートで実施させて頂くことになりました。頂きましたご意見については、今後検討を進めていく際の参考にさせていただきます。

問：自分の希望する時間に合わせて頂くことは出来ないと思いますが、年を取ってくると、朝早くお買い物に行かないと、混んで来て危ないので、私は朝10時開店と同時にお買い物に行くようにしています。今は、田無まで歩いて15分くらいですが、80歳を超えると歩くのもつらいので、この移動支援を利用させて頂くしかないのかなと思います。実験が終わって改善されていることに期待したいです。

答：平成29年度に地域の皆様にアンケート調査を実施させて頂いた際に、通院の場合など、かなり早い時間帯からご利用になりたいという実態があることは、認識しています。今回の実証実験を行うに当たっては、既存のタクシー事業者の協力が必要不可欠で、運行車両も既存の車両を使わせて頂くことから、早い時間帯ですと、通勤の方や通院の方が使われているなど、車両台数の関係もあり、今回は午前10時から正午に決めさせて頂きました。今後の結果を踏まえ、さらに検討を進めていきたいと考えています。

### 【運賃関係】

問：現在のはなバスの運賃が 150 円なのに、同じ税金を負担している者として、今回の運賃 300 円は高いと思います。

答：はなバスの運賃との差額については、一回に運べる人数や掛かる経費等を勘案して、実証実験としてやらせて頂く中では、田無駅方面へは 300 円とさせて頂いています。利用実態によっては、例えば、いつも 4 人で、乗り合いで運行されているようであれば、今後検討を進めていく中で、運賃を下げる可能性もあると考えています。

問：毎回、往復 600 円では高過ぎて、私は利用出来ないと思います。最初のうちは、協力者ということで無料にはならないでしょうか。

答：今回は実証実験であり、300 円という運賃で、皆様がどの程度ご利用されるかを検証したいと考えています。金額的にどうしても高くて乗れないという方には、実証実験に合わせてアンケート調査を実施する予定のため、その中で率直なご意見等を頂きたいと考えています。それらのご意見等を、今後勉強会等で検討させて頂き、より良いルート・運賃の設定となるように検討していきたいと考えています。

問：料金について、300 円はやはり高いと思います。夫と二人で病院に行こうとすると、往復で 1,200 円になるため、タクシーに往復で乗ったと思えば安いのかも知れませんが、はなバスと比べたらやはり高いと思います。

答：ご意見としてお伺いさせて頂きます。今後、実証実験の乗り合いの状況等によっては、運賃を下げる可能性もあると考えています。実際に実証実験を行ってみて、皆様が利用されている状況を見てもないと分からないため、今後、検討させて頂きたいと考えています。

### 【運行車両関係】

問：間違えて通常のタクシーに乗ってしまうかもしれないのですが、乗り間違えが無いように、タクシーにはステッカーが付いているのでしょうか。

答：「利用ガイド」13 頁に掲載の写真のイメージのとおり、タクシーの側面に「実験中」という表示を貼らせて頂きますので、他のタクシーと選別出来ると思います。

問：タクシーは何人乗りなのでしょう。

答：タクシーについては、「利用ガイド」13 頁に掲載の写真のイメージのとおり、セダン型の車両を予定しているため、運転手を除いて、最大 4 人の方が乗車頂けることとなりますので、もし乗り場で複数人の方がお待ちであれば、乗り合いで利用して頂くこととなります。

問：一度に乗れるのが、4 人ということですが、「新柳沢団地内公園」で 4 人待っていたら、「柳沢第一児童遊園」で待っていても素通りで乗れないのでしょうか。

答：次の車両をお待ち頂くこととなります。毎回毎回お待ちの方が多くて、タクシーが通過してしまうことが多い、ということであれば、例えば、追走させて頂くことなどを含めて、実証実験の中でも対応出来るところは、対応していきたいと考えています。



### 【実証実験結果関係】

問：この移動支援は、利用者が少ないと終わりになるのでしょうか。

答：今回の実証実験は、本格運行ではなく、タクシーを活用した移動支援の方法の場合に、どのような利用ニーズや課題等があるかを把握するためのものです。今後検討していく中で、場合によっては時間帯を変えたり、別の方法を検討するなど、色々な事が考えられます。今の段階で、利用者が少なかったらやめるか、といったことは何とも申し上げられません。基本的には、今回の実証実験をもって、より良い形にしていきたいと考えています。

問：実証実験は約3ヶ月ということですが、実験終了後はどのように検討していくのでしょうか。

答：今回の実証実験は、地域の皆様にアンケート調査にご協力頂いたり、移動支援のあり方を考える勉強会において、地域の方、学識経験者や事業者に参加して頂いている勉強会を立ち上げて、色々な意見交換をしながら、どういうところが課題なのか等を検討した成果の一つとして、タクシーを活用する方法をご提案しました。道路の幅員の関係などで、なかなか大きな車両が入れないということもあり、今回はタクシーを活用した方法ということになりましたが、必ずしも、それがこの地域の皆様が求めていらっしゃる利用形態に合っているか、ということは、現時点では分からない状況です。今回は、そのための実証実験だと考えていますので、皆様に実証実験に参加して頂く中で、課題等を改めて拾い出して、どのような改善策があるのか、ということ移動支援のあり方として、検討していきたいと考えています。

**【利用対象者・利用者登録関係】**

問：例えば、介護の関係で、ご主人が利用者カードの登録をしておけば、被介護者である奥様を連れて二人で乗車出来るのでしょうか。

答：その通りです。利用者カードをお持ちの方と一緒にあれば、介助や付き添いの方なども一緒にご乗車いただけます。ただし、その際は、介助や付き添いの方なども運賃は必要です。

## 【その他】

問：地域には、私以上に必要としている人や乗り場に近い人が沢山いるのに、説明会にいらしていません。これだけやって頂いているのに申し訳ないが、もっと広報をしてもらいたいです。

答：出来る限り地域の皆様に、この事業を理解して頂けるように、今後も心掛けていきます。沢山の方に、この実証実験に参加して頂いて、この先を考えていきたいと考えているため、皆様方も、ぜひ周囲の方に「こういう事をやっているから乗ってみませんか」とお声掛けください。

問：地域の方が何人も出られた勉強会があって、長い間検討されて、この案が出て来たことから、私はこの実証実験に出来るだけ参加をして、何か気づいた事があれば申し上げたいと思っておりますが、一つだけお願いがあり、協力事業者の運転手は良い方を選んで欲しいです。

答：ご意見として頂戴し、事業者にお伝えします。

問：移動販売について、農産物や鮮魚の販売があるが、インスタントラーメンなどは販売しないのでしょうか。

答：今回の実証実験では、農産物と鮮魚の移動販売を予定していますが、実際にご利用頂いて、ご意見を頂きたいと思っております。皆様すべてのご要望を受け入れて、移動販売を実施することは難しいとは思いますが、今後、皆様からのご意見等を踏まえ、引き続きどのような事が出来るかを検討していきたいと考えています。

問：移動販売の販売日時が、移動支援の運行日時と異なるのは何故でしょうか。

答：お近くで買える時と、移動支援等を使って、遠くまで出掛けて買える時とに別けて、実験をさせて頂きたいと考えているためです。

問：農産物の移動販売について、この地域の農家では、野菜を直売している方も多いので、わざわざ今回の移動販売の開催場所まで行かなくても済むのではないのでしょうか。

答：移動支援のあり方を考える勉強会において、この地域の課題として、お買い物に不便をされているというお声が多かったため、今回はこのような形で実証実験をさせて頂くことになりました。ぜひ、ご利用頂ければと考えています。